

# ながやまっ子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」  
龍ヶ崎市立長山小学校学校だより 令和7年6月6日 No. 5

## 今年度の学校経営（グランドデザイン）の重点について

経営方針 児童が主役である魅力ある学校づくり ～全ての教育活動を“チーム長山”で～

組織目標 児童・職員・保護者・地域に笑顔あふれる学校づくり

○ 支え合い、学び合う学習集団づくり

○ 自己肯定感を高める学級・学校経営

○ 働きがいや大切にした働き方改革の推進と自己研鑽の奨励

### 感動プロジェクト（思いやりのある子）

- ・発達段階を踏まえた多面的・多角的児童理解
- ・道徳的実践力を培う体験活動の充実
- ・**自他のよさを認め合える学級経営の推進**
- ・異学年交流、縦割り班活動の推進
- ・人権意識を育む人権教育の推進

#### 【数値目標】

- ・学校が楽しい 100%
- ・**自分にはよいところがあると思う 90%**
- ・みんなのために働くことができる 90%
- ・相手を思いやって行動できる 90%



### 夢プロジェクト（身体を鍛える子）

- ・運動量を確保した体育学習の推進
- ・健康教育、食育推進
- ・危険回避能力を育む安全教育の推進
- ・地域と連携した防災・減災教育
- ・体力づくりに向けた外遊びや縦割り班遊びの奨励

#### 【数値目標】

- ・早寝早起き朝ご飯等の基本的な生活習慣 90%
- ・児童の体力・運動能力調査A+Bの割合 60%
- ・毎日の運動・外遊びの時間の確保、  
月1回のロング昼休み「長山ラッキーフライデー」



### 笑顔プロジェクト（進んで学ぶ子）

- ・**授業づくりと人間関係づくりの一体化**
- ・**ペアやグループを基盤とした学び合い**
- ・表現力（書く力）を育成する学習指導の工夫
- ・STEAM教育による教科横断的な学び  
（探究的な学習、協働的な学習の充実）

#### 【数値目標】

- ・授業が楽しい 95%
- ・**ペアやグループで協力して学習できる 90%**
- ・**自分の考えを友達に伝えている 90%**
- ・自分の考えを書くことができる 85%



今年度の学校経営（グランドデザイン）のキーワードは「笑顔」です。子供たちには、始業式や入学式で「笑顔いっぱい」の学校をつくってほしいと話をしました。自分だけでなく、みんなが笑顔になるにはどうしたらいいか、常に児童に問いかけてほしいと思います。みんなが笑顔になるための重点施策として、特に上記グランドデザインの朱書にした、2点についてご説明いたします。

#### ○自他のよさを認め合える学級経営の推進

「いいところメガネ」を合い言葉に、相手のいいところに目を向けることを通して、自己肯定感を高める学級・学年経営を推進します。児童たちは学級活動や毎日の帰りの会等において、友達のいいところを発表し合う活動に日常的に取り組んでいます。相手のいいところに目を向けることは、良好な人間関係の基盤となります。たくさんの児童が、友達のいいところや頑張りを素直に伝えることができるようになっていきます。互いにいいところを認め合い、励まし合える学級・学年であってこそ、児童たちの笑顔がいっぱい見られると思います。

#### ○ペアやグループを基盤とした学び合い

児童が学校で一番長い時間を過ごす授業で、すべての児童の笑顔が見られるよう、支え合い、学び合う学習集団づくりに励みます。各教科の授業においては、ペアやグループを活用した協働的な学習に取り組み、授業づくりと人間関係づくりの一体化を図ります。自分一人の学びにとどまらず、友達の考えをじっくり聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりしながら、自分の考えを相手に伝えることができる力を付けさせたいと考えています。「なぜだろう」、「やってみたい」という児童一人一人の学ぶ意欲を大切に、対話を通して学びを深められる授業を展開していきます。



## 地域での交通安全、交通マナー ～安全な自転車の乗り方～

地域の方々から何度か自転車の乗り方についてお話をいただくことができました。「歩行者のすぐ横をスピードを出したまま走っていく」、「道路に飛び出す」など、命に関わる大きな事故につながりかねないと心配をいただいています。また、小さな子供や高齢者によつつかれば、加害者になってしまう危険もあります。6月6日（金）に、竜ヶ崎警察署交通課から講師をお招きし、全学年で交通安全教室を実施し、安全な道路の横断や、自転車の乗り方やヘルメット着用の大切さ等について学びました。

学校においては、これからも地域での交通安全、交通マナーについて、特に自転車に乗るときには、ヘルメットを着用するなど自分の安全だけでなく、周囲にも思いやりの気持ちをもって走行することを心がけるよう指導を継続していきます。ぜひご家庭におかれましても話題にしてみてください。